

対象国の条件：災害頻発国

研修コース番号：J1804282

案件番号：1884489

主分野課題：水資源・防災/総合防災

副分野課題：

使用言語：英語

**案件概要**

2015年3月に仙台にて第3回国連世界防災会議が開催され、国際的な防災枠組である「仙台防災枠組2015-2030」が採択された。また同会議では、防災主流化の重要性が強調された。防災の主流化は、a) 防災を優先政策に位置づける、b) すべての開発政策・計画に防災の視点を組み込む、c) 防災への事前投資を促進する、と定義され、仙台防災枠組の優先行動2（災害リスクガバナンス）・3（防災の事前投資）の実施に深く関連し、またターゲットE（国家・地方の防災戦略策定）に貢献するものである。また災害多発国の日本においては、すべての分野において防災を考慮する、必要な防災対策を実行するための適切な予算を配分するなど、「防災の主流化」を促進し、それが日本の経済・社会発展の重要な要因となっている。防災の主流化は強靱な社会を構築し、災害多発国の持続可能な開発を達成する上で必要不可欠と言える。上記を踏まえ、本プログラムでは防災主流化に関する日本の経験、教訓、優れた実践及び参加各国の事例を共有することにより、研修参加国の防災主流化を促進することを目的とする。

| 目標/成果   | 対象組織/人材  |
|---|--|
| <p><b>【案件目標】</b><br/>防災主流化の概念や開発政策へ防災の組み込み、政策レベルでの防災主流化促進に係る手法及び日本の事例を理解し、各国での防災主流化促進のための提案が作成される。</p> <p><b>【成果】</b><br/>1. 防災主流化の重要性、開発政策への組み込み及び日本における具体的な手法、事例を理解する。<br/>2. 各国の防災主流化の経験、教訓及び課題を共有、分析し、相互に理解する。<br/>3. 日本・参加国の優良事例を参考とし、帰国後防災の主流化を促進させるための提案を作成する。</p> | <p><b>【対象組織】</b><br/>防災政策策定・予算策定・実施を主管する国・地方の担当官庁</p> <p><b>【対象人材】</b><br/>1. 課長級もしくはそれに相当する職位以上の者<br/>2. 防災担当官庁及び国家予算担当官庁から各一名づつの参加が望ましい。</p> |

| 内 容  |  |
|--|--|
| <p><b>【成果1】</b><br/>-日本の防災政策と防災への投資の有効性<br/>-防災、減災に向けた国土強靱化政策<br/>-日本の防災行政<br/>-県の地域防災計画（総合防災情報システムを含む）<br/>-市の地域防災計画（公共施設、ライフラインの耐震化を含む）<br/>-災害統計の取組み<br/>-自治体による地域防災の取組み<br/>-教育セクターの防災主流化（防災教育、地域防災における学校の活用）<br/>-保健医療セクターの防災主流化（災害医療）<br/>-まちづくりと防災（都市部の企業の防災対策及び行政との連携、BCM等）<br/>-建物の耐震化推進の取組み</p> <p><b>【成果2・3】</b><br/>-カントリーレポート発表会<br/>-自国の課題と取組み・提言にかかるディスカッション・ワークショップ<br/>-提言発表会</p> | <p><b>本邦研修期間</b> 2018/7/8～2018/7/21</p> <p><b>担当課題部</b> 地球環境部</p> <p><b>所管国内機関</b> JICA関西（業務一）</p> <p><b>関係省庁</b></p> <p><b>実施年度</b> 2018～2020</p> |

|                      |   |
|----------------------|---|
| <p><b>主要協力機関</b></p> | <p>調整中<br/>参考：2015-17受注実績（NPO法人 SEEDS Asia）</p> |
|----------------------|---|

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| <p><b>特記事項<br/>及び<br/>ホームページ</b></p> | <p>仙台防災枠組グローバルターゲットE（2020年までに、国家・地方の防災戦略を有する国家数を大幅に増やす）</p> |
|--------------------------------------|---|